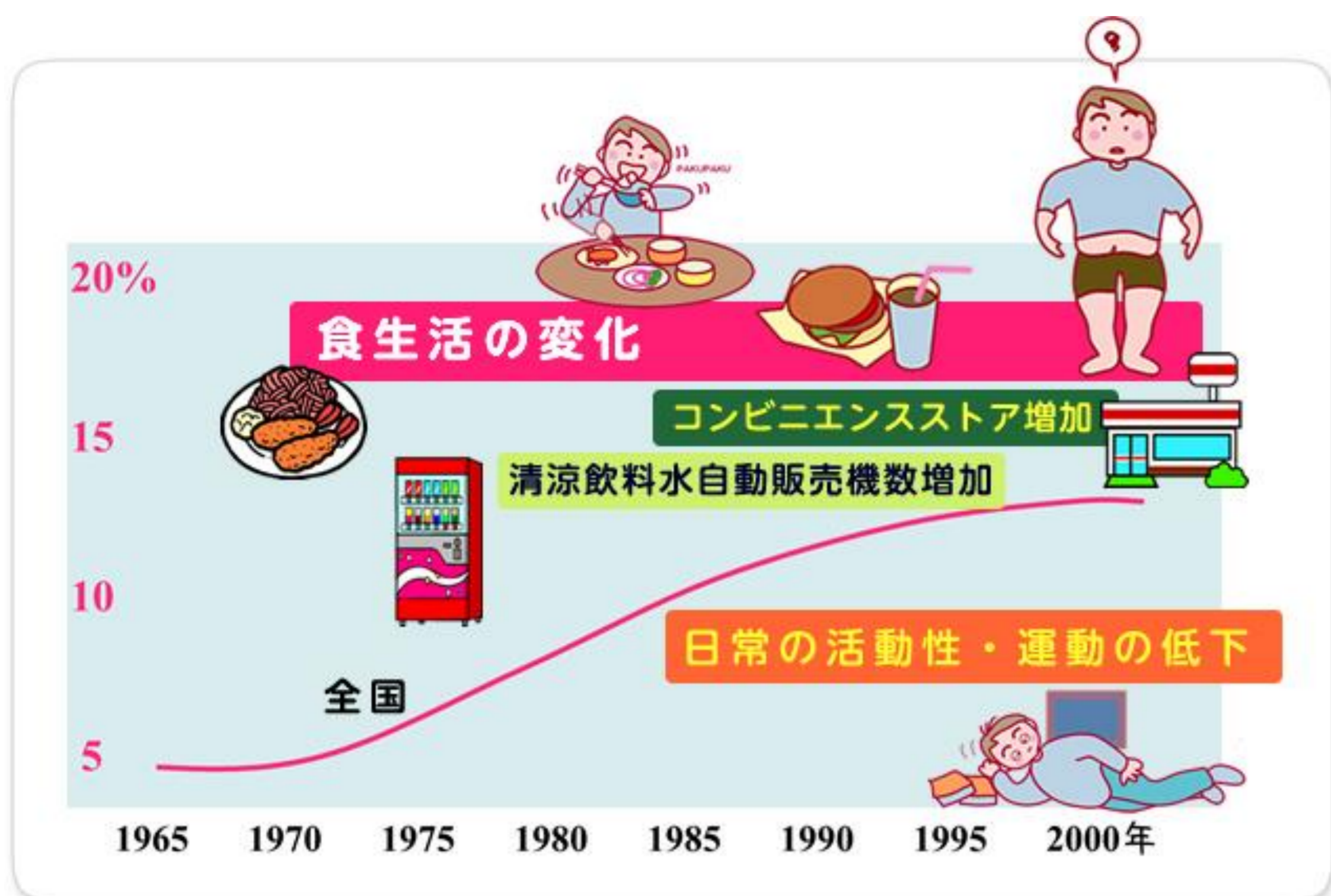


小児の肥満

小児肥満の現状



小児の肥満は年々増加傾向にあります。食生活やライフスタイルの変化にともない子供の肥満が増加しました。現在では1割程度の子供が肥満であるといわれています。

肥満とは？ 肥満症とは？

肥満度が+20%以上、かつ体脂肪率が有意に増加した状態をいいます。

肥満症とは、肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測される場合で、医学的に肥満を軽減する必要がある状態をいい、疾患単位で扱います。

肥満の判定はどのように行う？

主に肥満度というものを使って評価します。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重} \times 100(\%)$$

※標準体重は性別、年齢別、身長別に設定されています。

肥満度は標準体重に対して実測体重が何%上回っているかを示すものです。

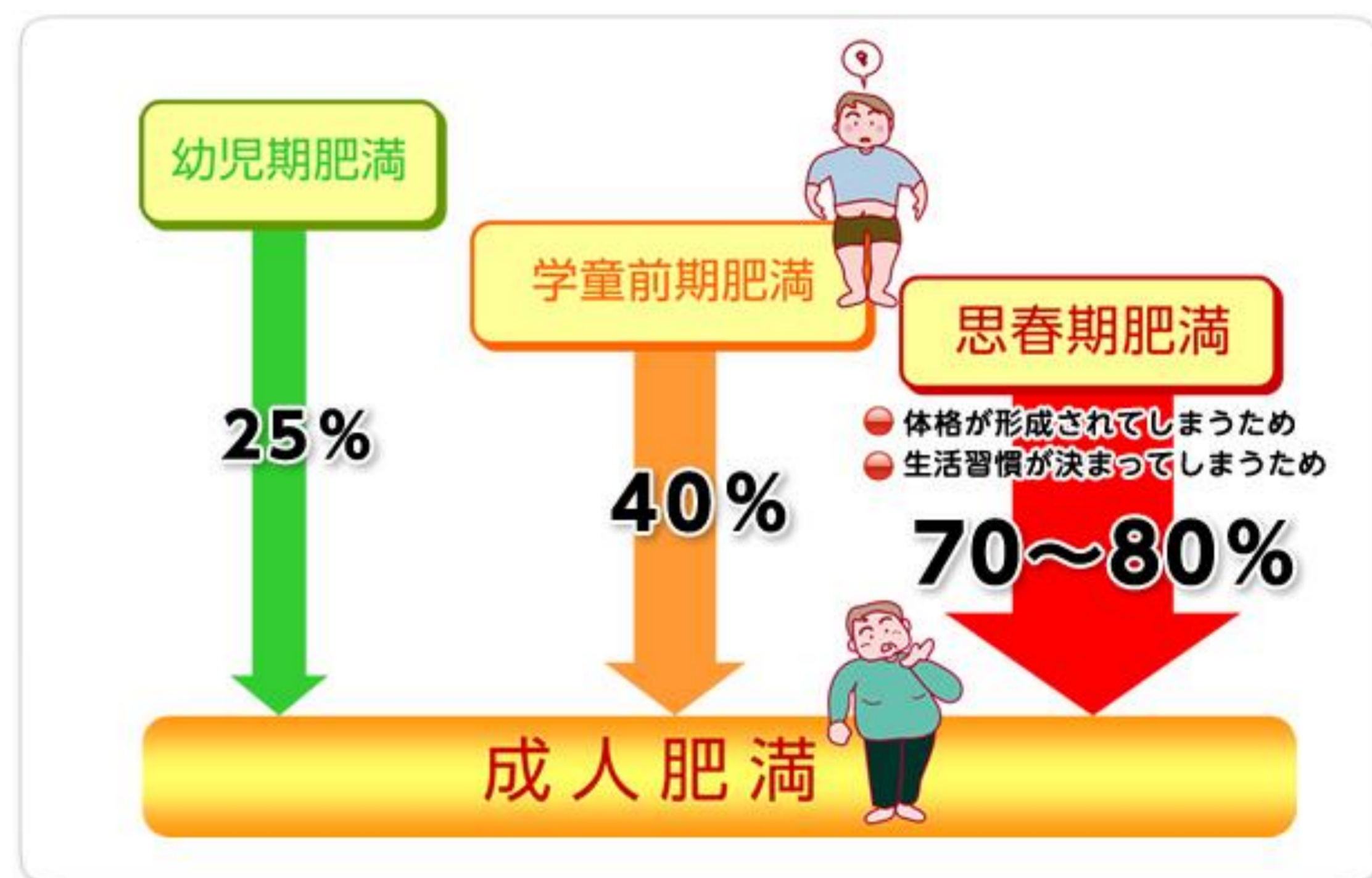
肥満は放っておいて大丈夫？

・肥満は生活習慣病のリスクを高めます。糖尿病、脂質異常症・高血圧などの原因となり、将来的な心筋梗塞や脳卒中のリスクを高めます。

・肥満のなかには病気がかくれてる（症候性肥満と呼びます）こともあります。

・小児肥満は成人肥満との関係が根強く、年齢の高い小児ほど大人の肥満に移行しやすいことがわかっています。

肥満症まで診断されずとも、肥満である場合には積極的な治療介入が必要です。



医療機関を受診する目安は？

母子手帳に添付されている成長曲線を使ってみましょう。

身長に比べ、明らかに体重が多い時や、体重増加傾向が続いているときはご相談ください。

